

PRESS RELEASE

2020/1/30 [3/10 改訂]

ヤン・ヴォー ーオヴ・ンヤ

2020年4月4日(土) - 6月14日(日)

国立国際美術館



ヤン・ヴォー 《All work》2019年
展示風景画像（第58回ヴェネチア・ビエンナーレ、2019年）
Courtesy the artist Photo by Nick Ash

開催情報

展覧会名 ヤン・ヴォー オヴ・ンヤ (読み: ヤン・ヴォー)
英語名 Danh Vo oVhnaD
主催 国立国際美術館
協賛 ダイキン工業現代美術振興財団
協力 Studio Danh Vo、Take Ninagawa
会期 2020年4月4日(土) — 6月14日(日)
会場 国立国際美術館 地下3階展示室 (〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-55)
開館時間 10:00 — 17:00、金曜・土曜は20:00まで ※入場は閉館の30分前まで
休館日 月曜日 (ただし、5月4日(月・祝)は開館)
観覧料 一般1,200円(900円) 大学生700円(500円)

() 内は20名以上の団体料金

高校生以下・18歳未満無料(要証明)・心身に障がいのある方とその付添者1名無料(要証明)

本料金でコレクション展もご観覧いただけます。

夜間割引料金(対象時間:金曜・土曜の17:00—20:00) 一般1,000円 大学生600円

一般のお客様からのお問い合わせ先

国立国際美術館 TEL: 06-6447-4680 (代表)

URL <http://www.nmao.go.jp/>

交通アクセス

京阪電車中之島線「渡辺橋駅」(2番出口) から南西へ徒歩約5分

Osaka Metro 四つ橋線「肥後橋駅」(3番出口) から西へ徒歩約10分

JR「大阪駅」、阪急電車「大阪梅田駅」から南西へ徒歩約20分

JR大阪環状線「福島駅」、東西線「新福島駅」(2番出口) から南へ徒歩約10分

阪神電車「福島駅」(3番出口) から南へ徒歩約10分

Osaka Metro 御堂筋線「淀屋橋駅」、京阪電車「淀屋橋駅」(7番出口) から西へ徒歩約15分

大阪シティバス「大阪駅前」から、53号・75号系統で、「田菱橋」下車、南西へ徒歩約3分

当館には専用駐車場はありません。ご来館は電車・バス等をご利用ください。

心身に障がいのある方で、車で来館される場合は、当館近隣の有料駐車場をご利用くださいますようお願いいたします。

同時開催 2020年4月4日(土) — 6月14日(日)

コレクション1: 越境する線描

次回展 2020年7月7日(火) — 10月18日(日)

ロンドン・ナショナル・ギャラリー展

コレクション2 米・仏・独・英の現代美術を中心に(仮)

開催趣旨

国立国際美術館は、世界で最も注目を集めているアーティスト、ヤン・ヴォーの日本の美術館では初となる個展「ヤン・ヴォー ーオヴ・ンヤ」（読み：ヤン・ヴォー）を開催いたします。

ヤン・ヴォーは 1975 年、ベトナム・バリアに生まれ、現在はベルリンとメキシコ・シティを拠点に世界各地で活躍しています。ヴォーは 4 歳の時に、父親の手製のボートに乗って家族とともにベトナムから逃れます。海上でデンマークの船に救助され難民キャンプを経てデンマークに移住。コペンハーゲン王立美術学校、フランクフルト（ドイツ）のシュテューデル美術学校で学びました。

ヤン・ヴォーは、彼自身の経験、家族の歴史、社会的あるいは政治的な歴史に彩られたレディ・メイドの物、写真や手紙などの蒐集品、また彼の周辺の大切な人たちの手によるものを取り込みながら作品化します。それらの作品を通じ、アイデンティティ、権力、歴史、覇権主義、エロティシズムといったテーマが直接的にあるいは比喩的に顕れ、鑑賞者にも一つの事物に対して異なる角度からの視線を持つことを誘います。

例えば、昨年からヴォーが取り組んでいる彼の教師、父親、恋人、ミューズである甥にまつわる作品。ヴォーに絵画を学ぶことを止めるようアドバイスしたピーター・ボンデによるミラー・フォイル上に描かれた抽象絵画。近年はコラボレーターでもある父親が記したカリグラフィー作品。恋人のハインツ・ピーター・クネスがヴォーのミューズであり甥のグスタフを撮影した写真。ヴォーにとって極めて重要な人々による作品を取り上げ、これらを再構成することにより、この作品群を通じてヴォーの姿が浮かび上がることに気づかされます。

あるいは、19 世紀末に作られた豪華なシャンデリアによる作品《セントラル・ロトンダ／ウィンター・ガーデン》(2011 公益財団法人石川文化振興財団所蔵)。これはパリにホテル・マジスティックとして建てられ、その後フランス外務省の管轄下にあった建物の大広間に飾られていたクリスタルのシャンデリアです。1973 年、このシャンデリアが吊るされていた建物の中でベトナム和平に関するパリ和平協定が調印され、ベトナム戦争の終戦が宣言されます。そしてサイゴン（現在のホーチミン）は陥落し南北ベトナムは統一され、社会主義国家の道へと進みます。これによってヴォーの家族は祖国を脱出することになったのです。2009 年、カディスト・アート・ファウンデーション（パリ）でのレジデンス中にヴォーは父親とともにこの場所を訪れ、関係者と交渉してシャンデリアを入手します。こうして彼は個人の記憶と集団の歴史の召喚、置換を紡ぎ出し、また文脈によって既に獲得された対象物の意味がどのように変化するのかを探求します。

本展覧会は、世界的に活躍するアーティスト、ヤン・ヴォーの全貌を明らかにする、日本の美術館における待望の初個展で、当館のみの開催となります。ヴォーの師、父親、恋人、ミューズであるヴォーの甥等、ヴォーの周囲の大切な人たちによる作品や、ベトナム戦争を押し進めた米国防長官 R.マクナマラの遺族との協働による作品など新作、近作を含め約 40 点余の作品を展示。ヴォーの卓越した選択眼、組み合わせの妙を存分に堪能いただけます。またヴォーにより丹念に考え抜かれた展示空間への作品配置も見所です。

ヤン・ヴォー

Danh Vo

1975 年、ベトナム・バリア生まれ。4 才の時に父親の手製のボートに乗り一族でベトナムを脱出。デンマークの貨物船に助けられシンガポールの難民キャンプを経てデンマークに定住。コペンハーゲン王立美術学校、フランクフルトのシュテューデル美術学校で学ぶ。現在はメキシコ・シティ在住。ベルリンにもスタジオを持ちノマド的スタイルで制作を続けている。

世界中で多数の個展を開催、作品も各国の主要機関に収蔵されている。国際展への参加も多く、2015 年にはヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展にデンマーク代表作家として参加。またフェリックス・ゴンザレス＝トレスの個展（「Specific Objects without Specific Form」、Wiels、ブリュッセル、2010）や「Slip of the Tongue」（Punta della Dogana、ヴェネチア、2015-2016）など、いくつかの展覧会のキュレーションも行なっている。日本では国立国際美術館の開館 40 周年記念展「トラベラー：まだ見ぬ地を踏むために」（2018）への出品をはじめ、横浜トリエンナーレ（2008、2014）、PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭 2015（2015）といった国際展にも参加。日本の美術館における個展開催は今回が初。

関連イベント

[アーティスト・トーク]

4月4日（土）14：00—

講師：ヤン・ヴォー（出品作家） *逐次通訳付

会場：国立国際美術館 地下1階講堂

参加無料、先着130名、当日10：00から整理券を配布します

[ギャラリー・トーク]

5月1日（金）18：00—、6月13日（土）14：00—

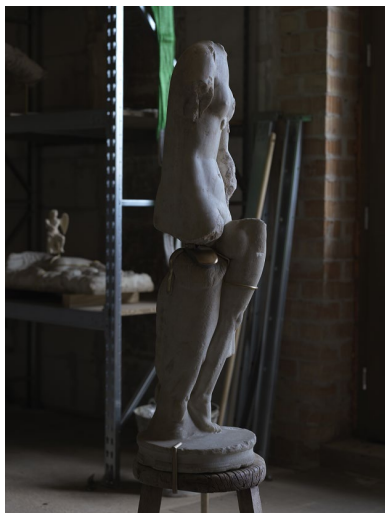
会場：国立国際美術館 地下3階展示室

参加無料（要観覧券）、開始30分前から聴講用ワイヤレス受信機を貸し出します（先着90名）

PRESS RELEASE

ヤン・ヴォー オヴ・ンヤ

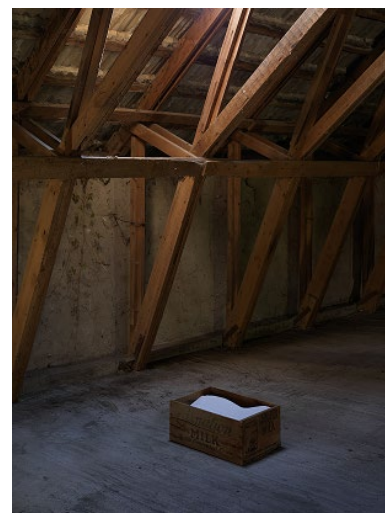
広報画像 [表紙に掲載した画像及び下記画像をご用意しております]



《無題》2018年 Collection of Honus Tandijono

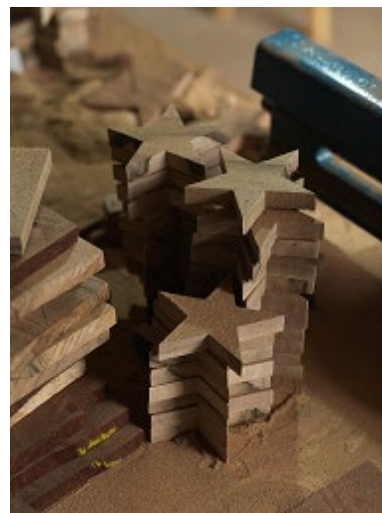
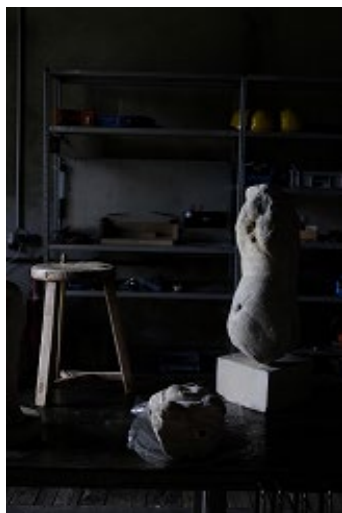
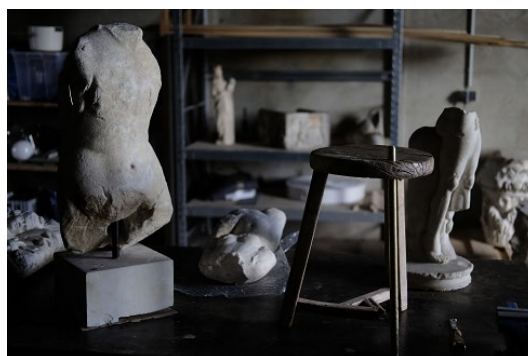


《無題》2018年 Collection of Honus Tandijono



《Lick me, Lick me》2015年

以下、Studio Danh Vo Güldenhof





画像はすべて
参考図版（表紙に掲載した画像を除く）
Courtesy the artist
Photo by Nick Ash

本展の広報を目的とした場合に限り、ご使用いただけます。

「広報画像申込書」にて申請していただきますようお願いします。

「広報画像申込書」は、国立国際美術館のホームページからダウンロードしていただけます。

国立国際美術館「プレスの方へ」 URL <http://www.nmao.go.jp/press/>

画像の使用にあたって、次の点をお守りいただきますよう、お願いいたします。

- ・画像と一緒に送るキャプションおよびクレジットを明記してください。
- ・画像のトリミングや、画像に文字を重ねての使用はできません。
- ・インターネットに掲載する場合は、無断転載禁止の旨を明記のうえ、ダウンロードできないように加工してご使用ください。
- ・会期・会場・画像キャプションなどの確認のため、ゲラ刷り・原稿段階で広報担当までメールまたはFAXにてお送りください。
- ・掲載（放映）終了後に、掲載出版物または録画メディアを広報担当宛にお送りください。
- ・インターネットに掲載した場合は、URLをお知らせください。
- ・画像の二次利用や転載はお断りいたします。使用後は画像データを破棄してください。

広報に関するお問い合わせ先

国立国際美術館 学芸課 広報担当 冬木 明里

E-mail: kouhou@nmao.go.jp TEL: 06-6447-4671(直通) FAX: 06-6447-4698(学芸課)

展覧会担当 植松 由佳（国立国際美術館 主任研究員）